

主要コンテナ航路の荷動き動向（速報値※）

（公財）日本海事センター・企画研究部

（公財）日本海事センター・企画研究部は、PIERS（Port of Import/Export Reporting Service）の統計データを基に、『日本・アジア / 米国間のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表しております。それに加えて、欧州航路、日中航路、アジア域内航路の荷動き動向も発表しております。

主要航路の荷動きのポイント

北米航路	<p>往航（2018年1月）1,503,218TEU（11.3%増）（2017年1月：1,350,484TEU） 復航（2017年11月）590,732TEU（4.1%減）（2016年11月：615,879TEU）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 北米往航（アジアから米国）は、前年比11.3%増で2か月ぶりのプラス。2018年1月の中国（塩田）-ニューヨーク間の運賃は前年比17.2%減の2,270ドル/TEUで4か月連続のマイナス。 ■ 北米復航（米国からアジア）は、前年比4.1%減で、5か月連続のマイナス。2017年12月のニューヨーク-中国（塩田）間の運賃は前年比4.2%増の740ドル/TEUで7か月連続のプラス。
欧州航路	<p>往航（2017年12月）1,398,592TEU（2.3%増）（2016年12月：1,367,493TEU） 復航（2017年12月）689,193TEU（5.1%増）（2016年12月：655,545TEU）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 欧州往航（アジアから欧州）は前年比2.3%増で2か月連続のプラス。年計では、4.1%増の1,582万TEU。2018年1月の中国（塩田）-英国（フェリックストウ）間の運賃は、前年比15.7%減の1,180ドル/TEUで5か月連続のマイナス。 ■ 欧州復航（欧州からアジア）は前年比5.1%増で2か月連続のプラス。年計では、5.1%増の784万TEU。2018年1月の英国（フェリックストウ）-中国（塩田）間の運賃は前年比53.0%増の1,010ドル/TEUで14か月連続のプラスに。
日中航路	<p>往航（2017年12月）940,405トン（16.1%減）（2016年12月：1,120,539トン） 復航（2017年12月）1,899,156トン（3.8%増）（2016年12月：1,829,558トン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日中往航（日本から中国）は、前年比16.1%減で4か月連続のマイナス、年計では2.6%増の1,153万トンで7年ぶりの増加。金額ベースでは前年比12.5%増の8,100億円で12か月連続の二桁増、年計では20.4%増の8兆1,758万円で3年ぶりの増加。12月単月の減少品目は、1位の「木材パルプ」、古紙」および2位の「プラスチック製品」「自動車部品」の上位3品目が減少。この他、銅製品など。年計では上位5品目のうち古紙を除いて全て増加。 <p>参考 往航上位5品目（累計）：1位の「木材パルプ」、古紙」、2位「プラスチック製品」、3位「機械類（産業用機械類）」、4位「鉄鋼」、5位「自動車部品」</p> <p>2018年1月の横浜-上海間の運賃は前年と横ばいの380ドル/TEUで8か月連続のマイナス。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日中復航（中国から日本）は、前年比3.8%増で3か月連続のプラス、年計では3.9%増の2,222万トンで3年ぶりの増加。金額ベースでは前年比7.9%増の1兆1,230億円で8か月連続のプラス。年計では6.1%増の12兆9,710億円で2年ぶりの増加。12月単月の増加品目は、1位の「機械類（主にエアコン、パソコン、洗濯機、冷蔵庫などの家電製品、その他機具、機械類）」、2、4位の「食品類」5位の「繊維類」など。年計では上位5品目のうちプラスチック製品を除いて全て増加 <p>参考 復航上位5品目（累計）：1位「機械類（主にエアコン、パソコン、洗濯機、冷蔵庫などの家電製品、その他機具、機械類）」、2位「野菜、穀物」、3位「プラスチック製品」、4位「調整食料品」、5位「繊維類」</p> <p>2018年1月の上海発-横浜向の運賃は前年比7.0%増の620ドル/TEUとなり12か月連続で増加。</p>
アジア域内航路	<p>（2017年12月）1,096,284TEU（5.9%増）（2016年12月：1,035,504TEU）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ アジア域内航路（日中韓台香+ASEAN）は、前年比5.9%増となり9か月連続のプラス。年計では1.7%増の1284.5万TEUで3年ぶりの増加。2018年1月のアジア域内コンテナ運賃指数（US\$/FEU）は前年比5.2%増の790ドル/FEUで11か月連続のプラスに。

注1：速報値ベースでの発表のため、後に修正が加わる場合がある。

注2：日中航路荷動き量は財務省「貿易統計」をもとにした（公財）日本海事センターによるトンベースでの推計。

注3：運賃指数はDrewry, *Container Freight Rate Insight*, 2017に基づく

図 - 1 北米航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

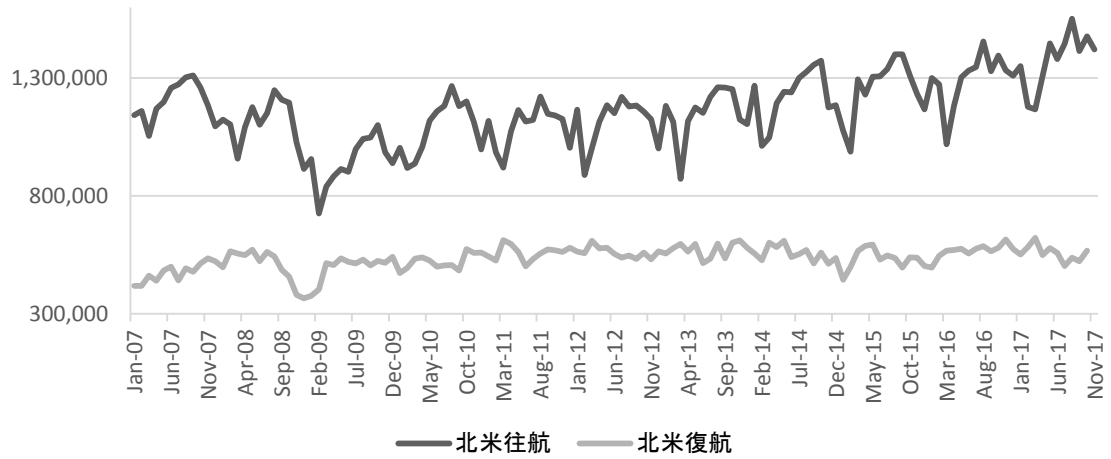


図 - 2 欧州航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

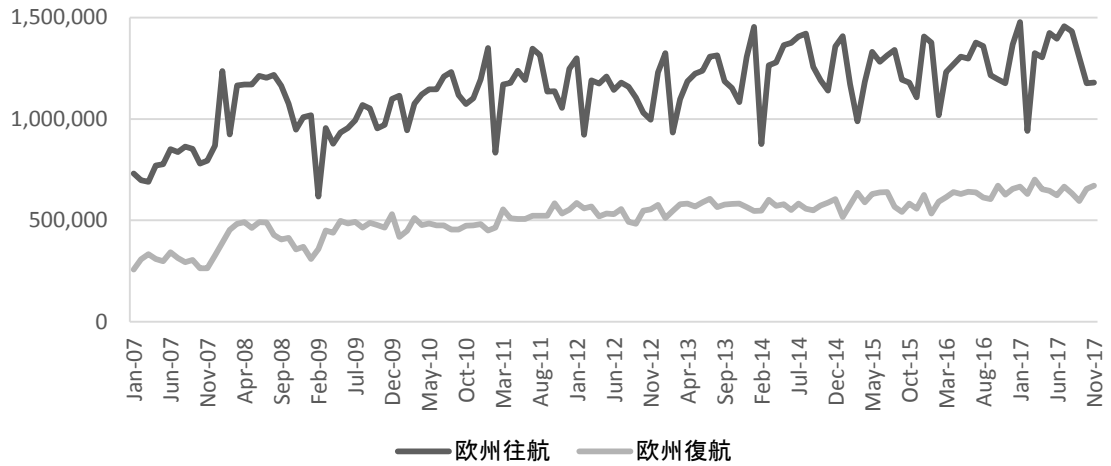


図 - 3 日中航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: トン)

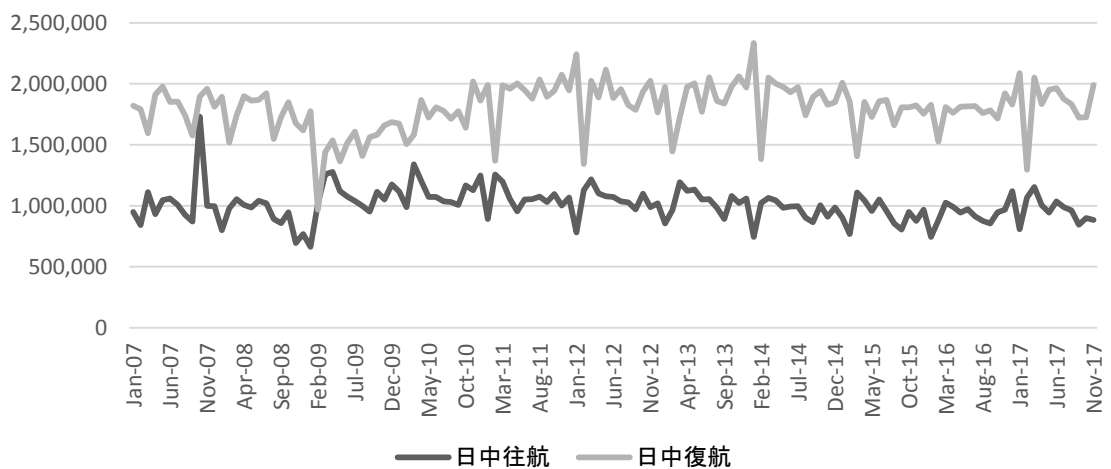


図 - 4 アジア域内航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

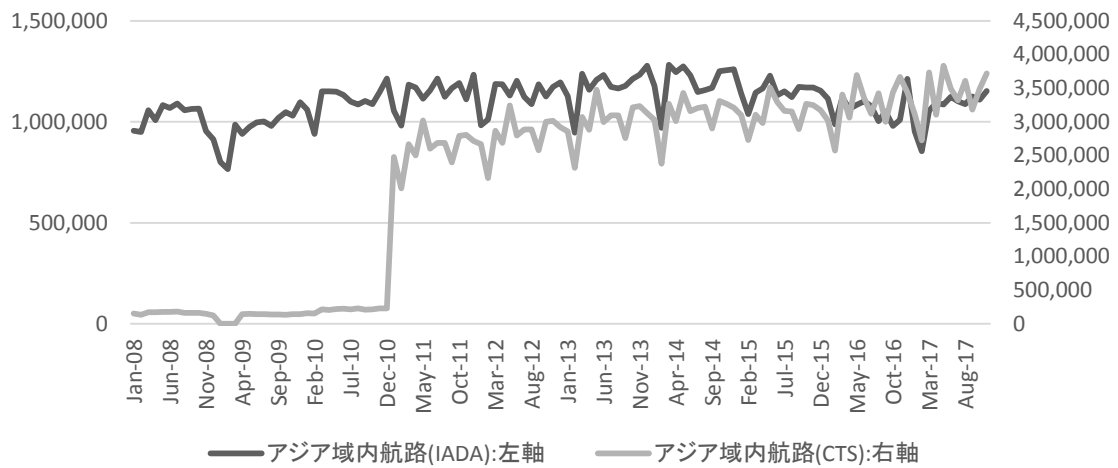


図 - 5 北米航路における運賃指数の推移 (単位: ドル/TEU)

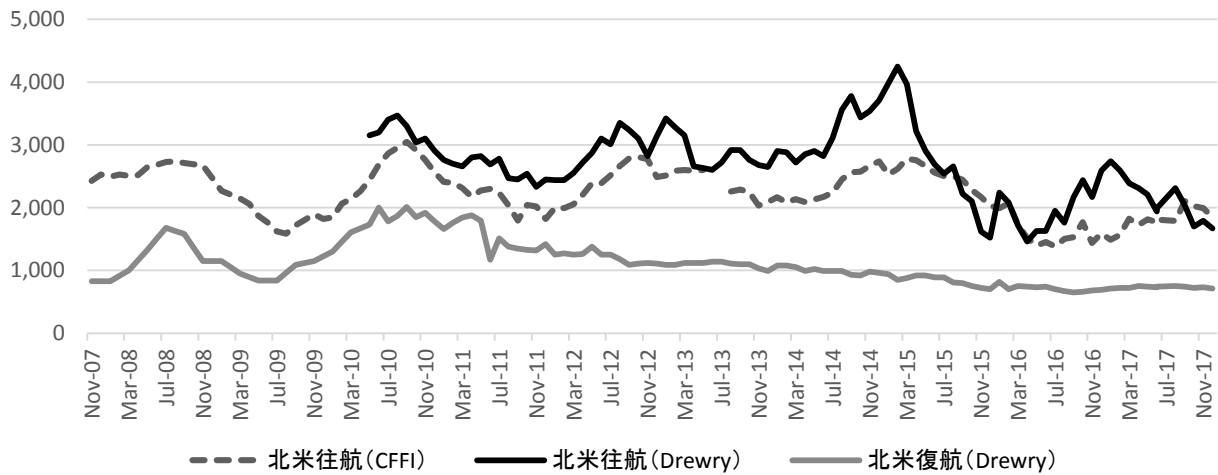


図 - 6 欧州航路における運賃指数の推移 (単位: ドル/TEU)

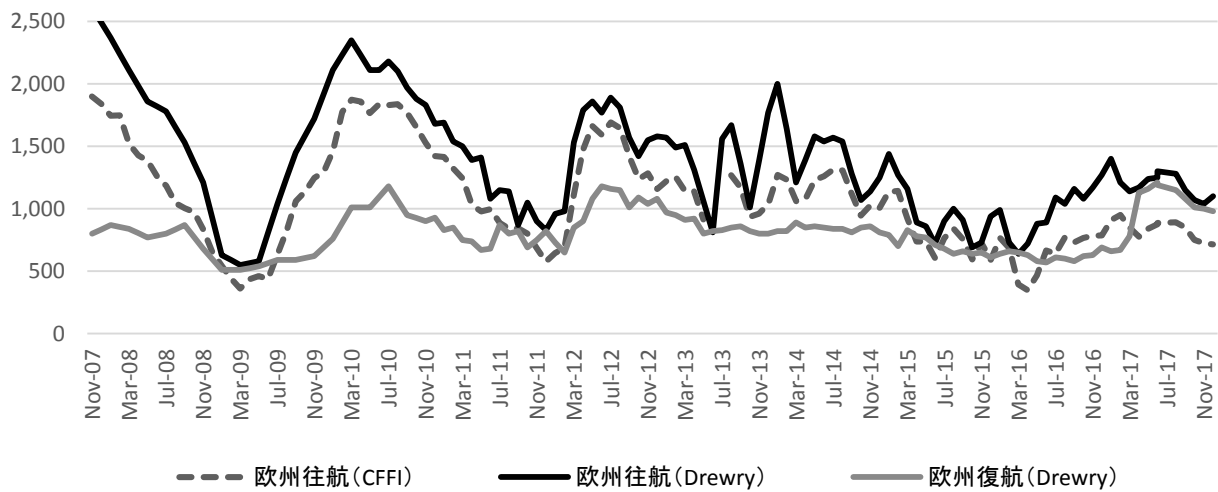
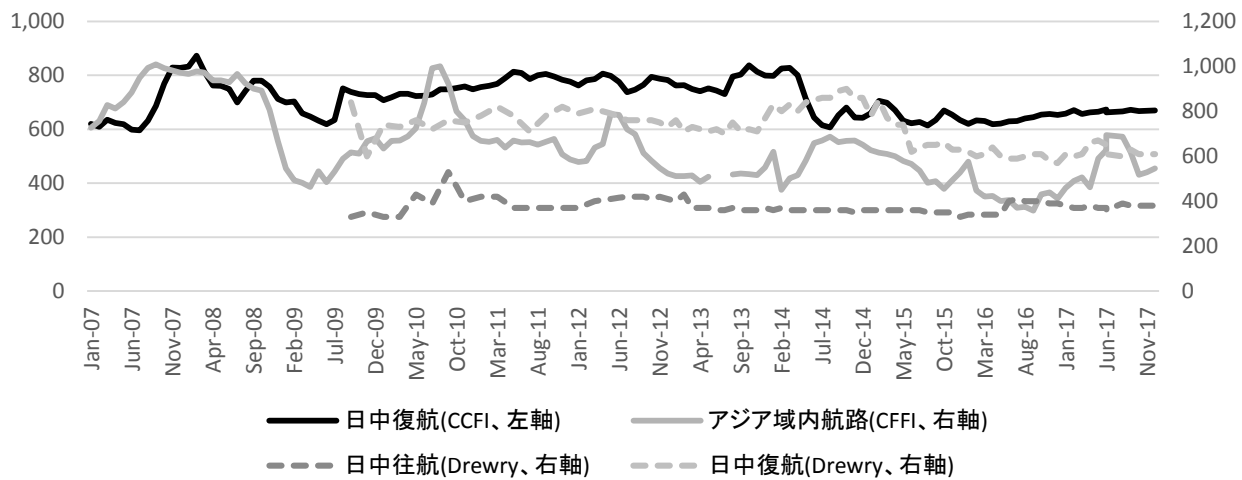


図 - 7 日中航路・アジア域内航路における運賃指数の推移 (単位 : 指数 (左軸) , ドル/TEU (右軸))



参考資料

2017年12月日本発中国向け海上コンテナ貨物：日中往航

NO.注2	HSコード※注1	品目名	2017年12月						2017年12月累計			
			輸出货量(1000t)			輸出額(10億円)			輸出货量(1000t)		輸出額(10億円)	
			前年比	シェア		前年比	シェア		前年比	前年比		
1	47	木材パルプ、古紙、板紙など	181	▲ 42.2	19.2%	10	▲ 21.4	1.2%	3,066	▲ 9.6	135	13.7
2	39	プラスチック及びその製品	182	▲ 22.1	19.4%	70	4.2	8.6%	2,335	0.4	732	14.9
3	84	機械類	98	17.5	10.4%	246	23.8	30.4%	986	28.8	2,410	28.8
4	72	鉄鋼	58	7.8	6.2%	12	17.4	1.5%	615	9.2	127	22.1
5	87	自動車部品など	50	▲ 7.4	5.3%	77	▲ 1.8	9.5%	546	15.0	797	19.5
6	74	銅及びその製品	31	▲ 41.5	3.3%	22	▲ 11.8	2.7%	502	▲ 7.7	270	8.5
7	29	有機化学品	50	3.9	5.4%	16	16.3	2.0%	491	3.1	153	17.9
8	40	ゴム及びその製品	25	▲ 10.4	2.6%	12	▲ 2.0	1.5%	259	▲ 2.8	127	12.1
9	34	石けん、有機界面活性剤、調製潤滑剤、ろう等	24	▲ 0.5	2.6%	11	8.4	1.3%	248	14.6	113	24.6
10	96	他の雑品(オムツなど)	19	1.6	2.0%	14	5.6	1.8%	226	25.9	167	26.6
11	85	電気機器、AV機器など	21	2.8	2.2%	93	2.9	11.5%	218	11.0	983	16.2
12	50	繊維類及びその製品	18	0.5	1.9%	23	8.1	2.9%	203	5.4	235	3.6
13	73	鉄鋼製品	19	10.9	2.0%	14	11.1	1.7%	193	3.4	138	13.5
14	76	アルミニウム及びその製品	16	16.1	1.7%	8	37.1	1.0%	161	15.2	78	24.8
15	38	各種の化学工業生産品	17	12.6	1.8%	15	16.4	1.8%	152	9.8	135	16.4
16	28	無機化学品及び貴金属、希土類金属	16	23.7	1.7%	8	30.9	1.0%	145	15.3	69	25.8
17	00	未分類	12	▲ 20.5	1.2%	22	11.5	2.7%	137	▲ 0.6	214	18.6
18	70	ガラス及びその製品	12	▲ 3.0	1.3%	7	▲ 0.9	0.9%	132	14.9	80	12.6
19	25	塩、硫黄、土石類、石灰及びセメントなど	11	8.0	1.2%	1	8.1	0.1%	112	16.8	9	15.4
20	27	原油及び石油製品	10	7.3	1.1%	2	29.6	0.2%	98	41.6	17	29.7
		上位20品目合計	869	▲ 17.4	92.4%	684	10.2	84.4%	10,825	2.1	6,989	365.3
		TOTAL	940	▲ 16.1	100.0%	810	12.5	100.0%	11,531	2.6	8,176	20.4

2017年12月中国発日本向け海上コンテナ貨物：日中復航

NO.注2	HSコード※注1	品目名	2017年12月						2017年12月累計			
			輸入量(1000t)			輸入額(10億円)			輸入量(1000t)		輸入額(10億円)	
			前年比	シェア		前年比	シェア		前年比	前年比		
1	84	機械類	265	11.1	13.9%	183	11.3	16.2%	3,234	9.4	2,127	6.5
2	06	野菜、穀物、果実、採油用種子、茶など	160	11.5	8.4%	28	▲ 2.1	2.4%	1,614	7.3	275	4.8
3	39	プラスチック及びその製品	102	▲ 19.3	5.4%	43	1.1	3.8%	1,500	▲ 2.8	522	5.4
4	16	調製食料品、飲料、アルコール	133	3.0	7.0%	49	8.0	4.3%	1,440	3.6	502	8.7
5	50	繊維類及びその製品	119	3.4	6.3%	177	1.9	15.7%	1,437	1.8	2,215	1.4
6	73	鉄鋼製品	118	▲ 9.8	6.2%	29	10.6	2.5%	1,393	▲ 6.3	324	5.6
7	28	無機化学品及び貴金属、希土類金属	100	8.0	5.3%	23	49.0	2.1%	1,099	7.3	226	35.0
8	94	家具、寝具など	81	9.5	4.3%	45	9.6	4.0%	913	5.0	514	6.5
9	44	木材	73	5.7	3.8%	15	4.8	1.4%	828	2.0	179	▲ 0.6
10	85	電気機器、AV機器など	73	0.2	3.8%	202	▲ 0.9	17.9%	798	2.8	2,264	2.7
11	68	石材、セメント製品など	56	▲ 5.6	2.9%	7	7.4	0.6%	780	▲ 2.1	91	2.8
12	47	木材パルプ、古紙、板紙など	56	0.2	2.9%	13	7.7	1.2%	706	3.5	156	4.7
13	87	自動車部品など	55	1.6	2.9%	37	8.5	3.3%	668	8.0	448	7.8
14	29	有機化学品	57	12.3	3.0%	29	19.9	2.6%	636	▲ 0.1	314	9.3
15	76	アルミニウム及びその製品	53	13.0	2.8%	18	19.2	1.6%	622	14.2	204	18.8
16	25	塩、硫黄、土石類、石灰及びセメントなど	62	30.5	3.3%	3	58.6	0.3%	612	8.2	28	13.8
17	38	各種の化学工業生産品	44	13.8	2.3%	8	21.5	0.7%	461	9.1	92	11.6
18	69	陶磁製品	38	▲ 1.6	2.0%	5	▲ 1.4	0.4%	448	5.1	55	5.0
19	72	鉄鋼	30	27.1	1.6%	7	53.9	0.6%	333	12.9	65	28.9
20	70	ガラス及びその製品	25	3.9	1.3%	5	2.4	0.5%	314	1.4	68	2.4
		上位20品目合計	1,699	4.2	89.4%	927	6.4	82.1%	19,837	4.0	10,670	5.3
		TOTAL	1,899	3.8	100.0%	1,130	7.9	100.0%	22,225	3.9	12,971	6.1

出所：財務省貿易統計をもとに(公財)日本海事センター作成
注1 当月の重量ベース(累計)の順位に基づく。

(参考) 輸送量・運賃データの出所

- 1.北米航路輸送量 : PIERS (Port Import/Export Reporting Service) データ
- 2.欧州航路輸送量 : Container Trade Statistics Ltd.
- 3.アジア域内航路輸送量 : SCAGA および Container Trade Statistics Ltd.
 - 注意 1 : アジア域内航路は、日本、中国、韓国、台湾、香港、フィリピン、マレーシア、ベトナム、カンボジア、インドネシア、マレーシア、シンガポールの 12 か国が対象
 - 注意 2 : アジア域内航路の荷動き量については連続性が確保されていない
- 4.日中航路輸送量 (トンベース) : (公財) 日本海事センター企画研究部 (注意 : 財務省貿易統計に基づきトンベースで推計)
- 5.北米航路、欧州航路運賃指数 (往航では (CI,Drewry) と示した列、復航) : Drewry “Container Freight Rate Insight”:南中国 (塩田) と米国東岸 (ニューヨーク)、英国 (フェリックストウ) 間の運賃
- 6.北米航路、欧州航路運賃指数((CFFI) と示した列) : 中国国際海運網ウェブサイト <http://en.shippingchina.com/scfi/index/index.html>
- 7.アジア域内航路運賃指数 (毎月) : 中国国際海運網ウェブサイト (中国・東南アジア間航路の運賃指数) Drewry “Container Freight Rate Insight”:Intra-Asia Freight Rate Index(US\$/FEU)
- 8.日中航路運賃指数 :
 - ・ Clarkson Research “China Intelligence Monthly“ (上海航運交易所発表の中国輸出コンテナ運賃指数 ((CFFI) と示した列) :
 - ・ **Drewry “Container Freight Rate Insight” (中国 (上海) と東京/横浜間の運賃) : 2014 年 4 月発表の資料より変更**
- 9.BDI (バルチック海運指数) :
 - ・ トランプデータサービス "World Maritime Analysis"
- 10.円ドルレート :
 - ・ FRB ウェブサイト <http://www.federalreserve.gov/econresdata/releases/statisticsdata.htm>